

学校再編(統廃合)で学級人数増 教育条件悪化 全国の自治体は少人数学級めざす 大阪市は否定

光り輝く小規模学校

生野区は3月付で「生野区西部地域学校再編の取組状況」を配布しました。

た。「再編整備計画」は白紙撤回するべきです。

昨年3月公表された、小学校8校・

西部地域の学校は小規模で問題があると

中学校1校を一举に

しています。しかし、

廃校にする「再編整

別掲の全国から年5

備計画」は、保護者、

00人ほどの教育関

PTA、地域から反

係者が視察に訪れる

対の声があがり、生

小学校の児童数は1

野区が目標としてい

00人です。先進国

た「8月基本合意」

では100人から2

はすべての小学校区

00人が標準です。

で行われませんでし

子ども・教職員・

保護者・地域相互の

近く、親しく濃いつ

なさが醸し出す空

気」に勝る教育環境

はないと、全国にあ

る光り輝く小規模校

から報告されていま

す。「小規模」だから

問題があると、大阪

市や生野区が決めつ

けることは許せませ

ん。

○通学に45分もか

かる。交通事故・事

件も心配。

○校区が広く遊び友

達が近くにいない。

(研究によれば遊ぶ

頻度が減り家で過ご

す時間が増える)

子どもから大人

まで、すべての人に

地域と関わる暮らし

が根づいていること

が、豊かなまちづく

りにつながります。

統廃合は学校を中心

として作り上げてき

た地域と関わる豊か

な暮らしとまとまり

を破壊します。学校

統廃合が子どもの幸

せにつながるのか、

真剣に検討すること

が求められています。

学力アップ 秋田に学べ

全国調査で上位

学校現場の視察 村に年500人

学力の高さを旨を掲げ、全国から年500人ほどの教育関係者が視察に訪れる山村が秋田県にある。現場を訪ねると、磨かれた授業風景が広がっている。秋田県立学力調査でトップクラスの結果を維持する自治体の取り組みを、ほかの自治体から学ぶ動きが広がっている。

「調査へ、ぜひ学びたい」と、今年も約500人の視察客が訪れた。県教委は、学力調査で上位の自治体から学ぶ動きが広がっている。秋田県立学力調査で、トップクラスの結果を維持する自治体の取り組みを、ほかの自治体から学ぶ動きが広がっている。

県教委は、学力調査で上位の自治体から学ぶ動きが広がっている。秋田県立学力調査で、トップクラスの結果を維持する自治体の取り組みを、ほかの自治体から学ぶ動きが広がっている。

県教委は全国学力調査で上位の結果を出せる背景に、全国に先駆けて01年に導入し始めた30人程度の少人数学級もあるとみる。

朝日新聞2017年1月27日

学校再編(統廃合)で1学級の児童数は?

鶴橋小	17人	⇒	A小	35人
御幸森小	18人	⇒	B小	39人
林寺小	18人	⇒	C小	31人
田島小	26人	⇒	D小	30人

(※詳細は裏面参照)

全国の自治体が努力している少人数学級の逆行しています

大阪市学校園教職員組合
2017年4・5月
06-6910-8700